

..., ● | ●, ...

第 $(k-1)$ 群の終わり ↑ ↑ 第 k 群の始まり


次に、第 k 群の最初の項は第何項なのかを調べます。
 第 $(k-1)$ 群までの項の数に **1 を足す** ことで分かります。
 第 k 群までの項の数が $(2^k - 1)$ 個だったので、
 第 $(k-1)$ 群までの場合は $(2^{k-1} - 1)$ 個です。これに 1 を足して

$$(2^{k-1} - 1) + 1 = 2^{k-1} \quad \text{---(C)}$$

これより、この群数列について以下のことが分かりました。

第 n 群の最初の項	第 n 群の最後の項	第 n 群に含まれる項の数
(C)より	(B)より	(A)より
第 2^{n-1} 項	第 $(2^n - 1)$ 項	2^{n-1} 個
(1)の答え		(2)の答え

この数列は $a_n = n$ ということ、項の番号と項の値が同じです。したがって各群の最初の項と最後の項の値は以下ようになります。

第 n 群の最初の項	第 n 群の最後の項
2^{n-1}	$2^n - 1$

(3)

次に 3000 が第何群の何番目にあるかを求めます。

考え方は、3000 が第 i 群の中にあるとすれば、

3000 は第 i 群の最初の項と最後の項の間にある

と見ることです。第 i 群の最初の項の値は 2^{i-1} 、最後の項の値は $2^i - 1$ なので、

$$2^{i-1} \leq 3000 \leq 2^i - 1$$

を満たすということです。これを満たす i を求めるために、 i に 1 から順に数字を入れていくと、 $i = 12$ とすると、

$$2^{12-1} \leq 3000 \leq 2^{12} - 1$$

$$\Leftrightarrow 2048 \leq 3000 \leq 4095$$

となって不等式を満たします。これより 3000 は第 12 群にあることが分かります。

..., 2047 | 2048, 2049, 2050, ..., 3000, ..., 4095 | 4096, ...

第11群

第12群

第13群

第12群の最初の項は $2^{12-1} = 2048$ です。したがって第11群の最後の項は2047
ですので、 $3000 - 2047 = 953$

以上より、3000は第12群の953番目にあります。

群数列問題は以下の問題で構成されていることがよくあります。

- ・各群の項の数はいくつか？
- ・各群の最初の項と最後の項は何か？
- ・(ある数)は第何群の何番目にあるか？

上の表のように、各群の最初の項は第何項か？また最後の項は第何項か？各群
に項がいくつあるか？の3つの情報を調べることができれば、上の問題に全て
対応することができます。この問題では小問(1)(2)によってこの3つの情報を調
べるように誘導していますが、この小問が無くとも群数列問題を見たらまず3
つの情報を求めにかかるといってしまってもいいでしょう。